

# 禁煙がニュースになる時代（2）

ガス会社（東京都）の場合

日本経済新聞10/19朝刊

## 社員のがん予防 東ガスが支援策

### 禁煙や肥満対策

東京ガスは社員向けにがん予防の支援策を始めた。産業医など専門家による禁煙や肥満対策、運動不足の解消などを促すキャンペーンを展開。日本人の最大の死亡原因であるがんの予防に力を入れることで、社員の健康増進につなげる。

喫煙対策では7人の産業医が営業所や工場を回

り、社員が月1回は禁煙について相談できる機会を設ける。肥満対策では社員がメールで日々の食事内容を送ると、管理栄養士が改善を指導する仕組みだ。

運動支援では約3000個の歩数計を社員に順番に貸し出し、2週間装着してもらおう。その後、歩数や消費カロリーなどのデータを社員ごとに分析する。運動不足になっていないかなどをチェックする。

東京ガスでは在職中の社員の死亡原因の約半数をがんが占めるといふ。社内でのポスターの掲示や専門家の講演会などで、啓発活動にも力を入れる。

# さらに進んで、全社禁煙を実践する時代（1）

## 半導体メーカー（京都府）



採用情報での記載

「ロームは全社禁煙となっています。勤務時間中はもちろん、休憩時間・残業時間中も禁煙です。喫煙の習慣のある方は、入社後の拘束時間と出退勤途上は社内外に関わらず、一切喫煙の出来ないことを予めご了承ください。」

社員の健康と快適な職場環境の実現と、喫煙は半導体製造工程で品質に影響を与える恐れがあるため

1992年：禁煙活動開始、42日間禁煙達成者に賞品やポスターによる啓発活動  
1995年：指定場所以外の全面禁煙化

1996年：本社構内の屋外「駆け込み喫煙所」、職場内の禁煙、管理職の禁煙（休憩時間除く）  
1998年：全社禁煙

## 保育教材メーカー（福井県）



「禁煙宣言」1999年4月1日

弊社は会社設立50周年を節目に保育教材メーカーとしての責任を自覚し、煙の害から子供を守り、社員及び家族の健康保持と環境浄化を願って全社禁煙を宣言いたします。

採用情報での記載

応募条件として「禁煙運動に同意いただける方」

## ソフト開発（神奈川県）

コンピューターにヤニや灰がつくため元々社内全面禁煙だったが、喫煙・非喫煙のチームワークの乱れや時間・仕事のロスのため、全社員の話し合いで採用を非喫煙者に限定することを決定

喫煙は、本人の健康のみならず、周りの社員の健康環境を著しく低下させることとなります。エスエムジーの全社禁煙制度は全体会議で決定され、今では社長も禁煙しています。灰皿の一切無いオフィスの快適さは、社員の働く環境への強い意志の表れです。

※喫煙者の方でも入社までに禁煙可能な方はこの限りではありません。



全社禁煙

当社では全社禁煙をポリシーとしています。